

# **MB** *MOTION BOARD*

データを集約・可視化、アクションにつなげるBIダッシュボード



# データを集約し、可視化し、行動に繋げる

複数のデータソースを集約し、リアルタイムで可視化。  
さまざまな形式でアウトプットした情報をもとに  
次の打ち手をスムーズに決定する BI ダッシュボードです。

## 各種データベース

主要なデータベース、  
オンラインストレージと連携します。



**Dr. Sum**

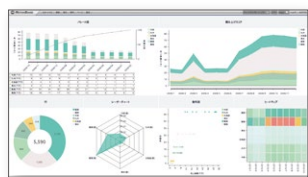
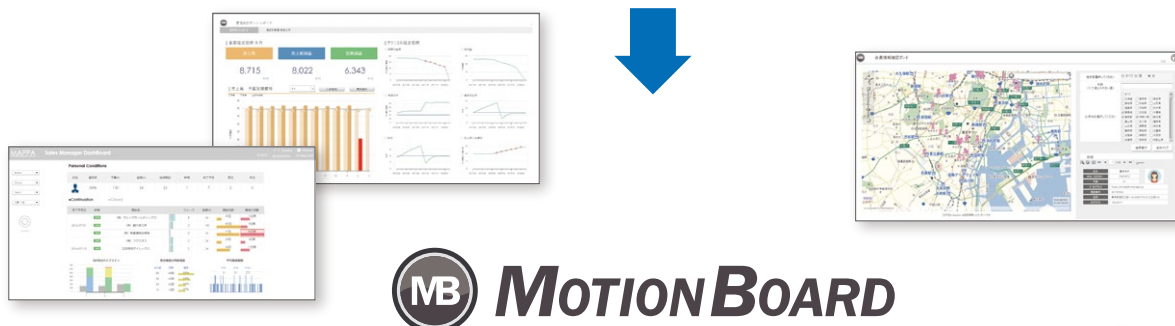
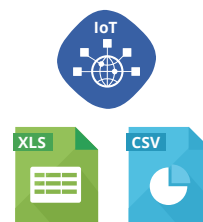
## 各種クラウドサービス

数十種類のクラウドサービスと連携します。



**sansan**

## そのほか 各種データソース



## レポートिंग

ダッシュボードの情報は PowerPoint、  
Excel、PDF で出力できます。



## プッシュ通知

わざわざ見に行かなくても、ダッシュボードの  
情報を受け取れます。メール、Slack や  
Chatter など各種チャットツール対応。



## アクション

ダッシュボードの情報をもとに  
ボットがつぎのアクションを実行。  
業務の自動化を実現します。



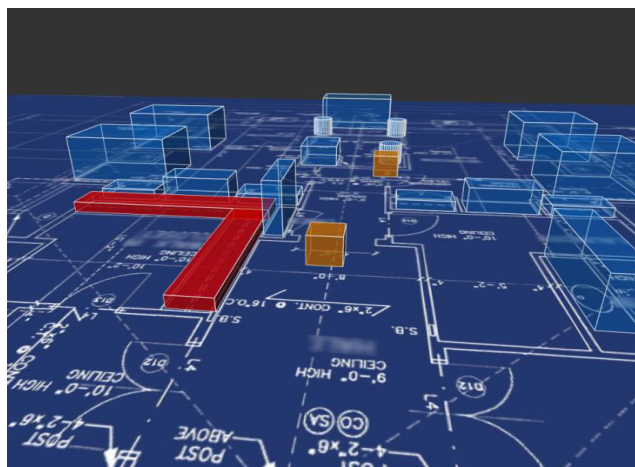
# 従来のBIにとどまらない多彩な表現で、どんなデータも思い通りのイメージへ

## リアルな表現力で、データに新たな価値を吹き込む

地図機能や3Dマップなど、従来のBIにとどまらない多種多様なビジュアライズも可能です。豊富な表現をノンプログラミングで自由自在に設定できます。

### NEW 3Dマップアイテム

オブジェクトとデータを3次元空間にマッピングし実空間における情報を可視化します。オブジェクトの色や動きにより、データの変化をより視覚的に表現することが可能です。例えば工場などにおいて異常値が発生した場合など場所を特定や、全体の稼働状況などを視覚的に把握できます。



### 工場における設備の稼働状況、生産状況の可視化

IoT機器からリアルタイムに発生・変化するデータを元に稼働状況・生産量が手に取るように把握できます。

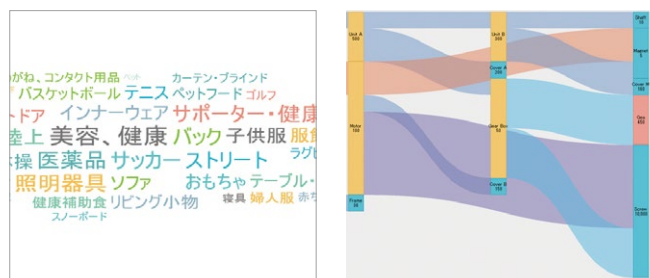
#### 活用例

### 倉庫における適正配置の分析

在庫滞留期間や入出庫の頻度を倉庫の配置にマッピングし、効率的な倉庫運用の分析ができます。

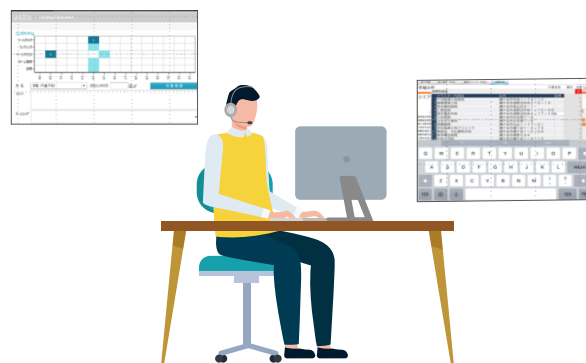
## 幅広いニーズに応える数十種類のチャート

円、棒、折れ線などの使われてきた基本的なチャートから、レーダー、ゲージ、シグナル、散布図、バブルチャート、ウォーターフォールまで、豊富なチャートを用意しています。プロジェクト管理で作業の進捗管理に使われるガントチャートや、品質管理に用いるパレート図なども選択できます。データの出現頻度を可視化するWordCloud や、物やデータの流量を可視化できるサンキーダイアグラムなどの新しい表現形態もサポートしています。



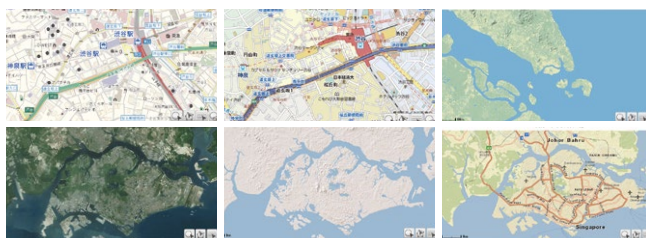
## データ入力業務の効率化をサポート

従来の「見える化」ツールにはなかった、「入力」機能を実装商談情報、活動内容、実績、顧客情報など集計結果を参照し、新しい情報入力が可能です。また、PCに限らず、Mobileからも操作できるので、現場ユーザーが手軽にデータを入力する際に活用できます。



## データを地図上に表現

MotionBoardは、「地図機能」を標準搭載。高精度な商用地図「MapFan」「Mapion」「ESRI(ArcGIS)」が利用できます。複数の住所を最も効率的に巡回できるルートの表示や、特定の場所から指定した時間で到達できる範囲を算出する到達圏分析も可能です。



✓ 世界初の独自「リアルタイムGEOコーディングエンジン」の搭載により、お客様や店舗情報などの住所情報から緯度経度への変換を、圧倒的なパフォーマンスで実現。地図上にポイント表示できます。

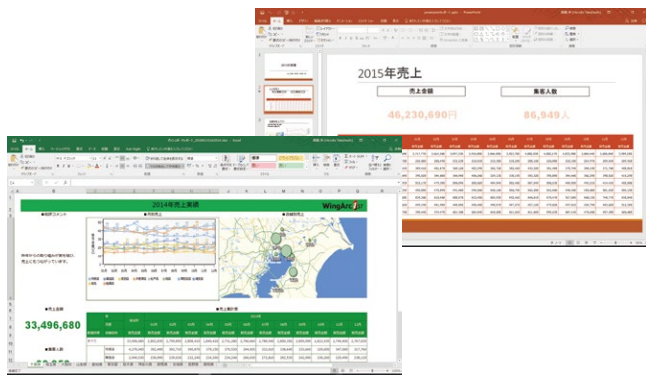
# ビジネス変革をもたらすデータ活用へ

## 大量データをインメモリで高速化

インメモリ技術により大量データも高速に処理できます。MotionBoardのインメモリ技術は、すべてのデータをメモリ上に取り込む方法に加えて、差分データの取り込みや条件を指定した取り込みなど、お客様の運用イメージに合わせた方式を選ぶことができます。

また、単体サーバーのメモリを増強させる従来のインメモリサーバー構築方式に加え、サーバーを分散させた環境でも、それぞれのメモリを活用できる独自の仕組みを持っており、コストの軽減や負荷分散で威力を発揮します。

## レポートで全社共有



ダッシュボードをExcel、PowerPointファイルに出力。日々のレポートを自動生成できます。MotionBoardはビジネスにおける報告業務の基盤になります。

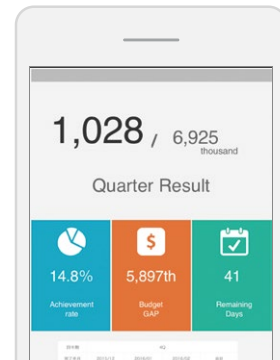


☑「SVF」「SVF Cloud」との連携により、精度が求められる帳票の出力も可能です。

## 階層ツリー表示

ビジネス上で発生するデータを、階層ツリー表現で簡単にダッシュボードへ表示できます。また、枝葉の項目から利用されている親項目を逆に調べることも可能です。例えば、製造業の現場で使われる部品表(BOM:Bill Of Materials)の表現が可能になります。

## モバイルでの利用に最適化



タップやピンチ(拡大・縮小)などのスマートフォンやタブレット端末特有のタッチパネル操作に対応しています。

もちろん、モバイル専用の開発は必要なく、モバイル利用のその日から違和感がない快適操作を手に入れることが可能です。

## 伝える表現と伝わる情報で、コミュニケーションを促進

### チャートへのコメント

チャートにコメントを付加できます。

分析結果の指摘や気づきを具体的に共有できます。

### ボードストーリー機能

分析結果を共有しても、どこを見たらよいかわからない。

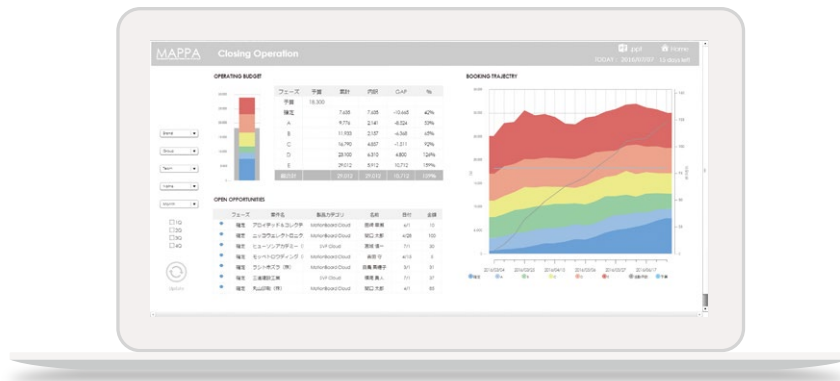
そんなときはボードストーリー機能を使って、ダッシュボードのフォーカスしたいポイントや、アクションを促すメッセージを効果的に伝えることができます。

### カレンダー表示

カレンダー形式で、数値の大小を色の濃淡で表示できます。

階層	項目名	コード	単位	在庫	リンク
1	スマートフォン本体	1234567890	台	1000	リンク
2	スマートフォンディスプレイ	1234567891	枚	1000	リンク
3	スマートフォンカメラ	1234567892	個	1000	リンク
4	スマートフォンバッテリー	1234567893	個	1000	リンク
5	スマートフォンケース	1234567894	個	1000	リンク
6	スマートフォン充電ケーブル	1234567895	個	1000	リンク
7	スマートフォンイヤホン	1234567896	個	1000	リンク
8	スマートフォン保護フィルム	1234567897	枚	1000	リンク
9	スマートフォン修理キット	1234567898	個	1000	リンク
10	スマートフォンアクセサリー	1234567899	個	1000	リンク

# 分析を身近に、データからインサイトを



## ■ データを自由に深掘り

ドリルダウン(データの掘り下げ)やドリルスルー(明細レベルの表示)、などのOLAP分析機能を網羅しています。

既に集計された数字を見るだけでなく、より詳細なデータの確認や、切り口を変えたデータ集計を自由に行えます。

多角的な分析を行うことにより、仮説の検証や原因の特定に役立ちます。

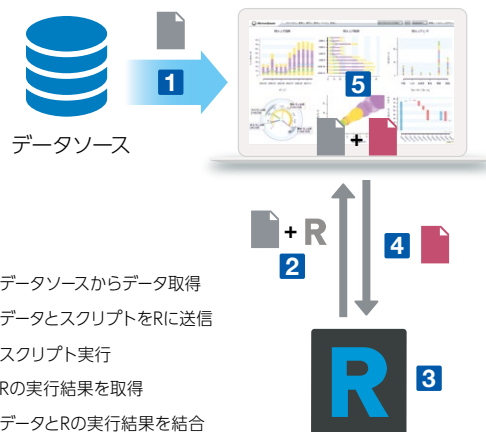
## ■ 高度な分析ロジックを標準で提供

高度な分析をノンプログラミングで実現。マウス操作のみで高度な分析が行えます。

管理図分析	確率分布分析	リアルタイム分析
クロス集計	TR分析	移動平均
ランキング分析	バスケット分析	時系列予測
ABC分析	相関係数	基本統計
RFM分析	クラスター分析	回帰分析
データシミュレーション	OLAP分析	

## ■ Rと連携した高度かつ多彩なデータ分析

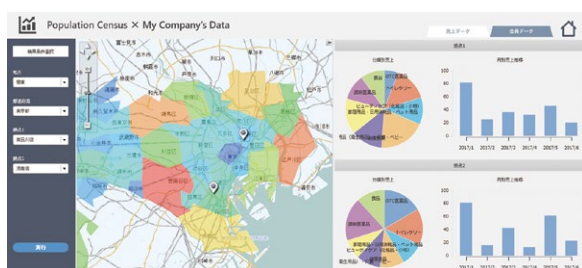
R\*と連携することで、今までは事前処理や他システムで処理する必要があった高度な分析や計算をMotionBoard上で表現できます。



- 1 データソースからデータ取得
- 2 データとスクリプトをRに送信
- 3 スクリプト実行
- 4 Rの実行結果を取得
- 5 データとRの実行結果を結合

※R言語はオープンソース・フリーソフトウェアの統計解析向けのプログラミング言語です。  
 (注意) スコアリング機能の使用条件  
 MotionBoardのスコアリング機能を使うには、次の条件をすべて満たす必要があります。  
 ●統計分析や機械学習を行う外部システム(Microsoft R Server、またはRserve)が使用できる状況であること  
 ●統計分析や機械学習を行う外部システムに接続するための設定(外部接続設定)が作成されていること

## ■ 自社データ×第三者データを組み合わせた分析



自社データに、有益な第三者データを地図上に重ね合わせることで、新たな気づきや発見を促します。

すぐに使えるクレンジング済みのデータを取り揃えた第三者データ提供サービス[3rd PartyData Gallery]を別途ご用意しています。

# 刻一刻と変わるビジネスの状況をリアルタイムに

## IoTデータの可視化



IoTデータの可視化を実現するリアルタイム用APIを提供。  
センサーからのデータをMotion Boardが受け取り、瞬時に可視化できます。  
ビジネスにおける素早い判断につながる環境を提供します。

## その瞬間を知らせるリアルタイムアラート

センサーや業務で発生する様々なデータ (IoTデータ) を監視し、リアルタイムに通知。ボードごとに秒単位でチェックし、設定したしきい値を超えたタイミングでメール通知・プログラム連動などの処理を自動実行することができます。  
担当者が常にダッシュボードを確認する必要はありません。

### アラート例

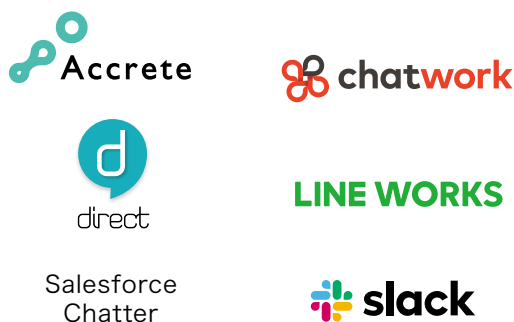
- 電力量が特定の値を超えた
- 在庫が安全在庫数を割った
- 機械のセンサー値が異常になった

通知例



## ビジネスチャットへプッシュ通知

ビジネスチャットにリアルタイムに通知。状況を把握できます。



## 身近なスマートフォンをセンサーデバイスとして活用

スマートフォン用のアプリ (IoT Agent) は、手軽にスマートフォンの各種センサー情報を収集、車両情報などの導線把握を可能にします。



## IoTリアルタイム可視化ダッシュボード例



リアルタイム サーバーモニタリング



スマートホームの可視化



オフィスの可視化

# 直感操作でやりたいことがすぐできる



## ■ 容易な画面設計

MotionBoardでは、ドラッグアンドドロップなどの簡単な操作でアイテムをボード上にレイアウトし、ダッシュボードを作成できます。

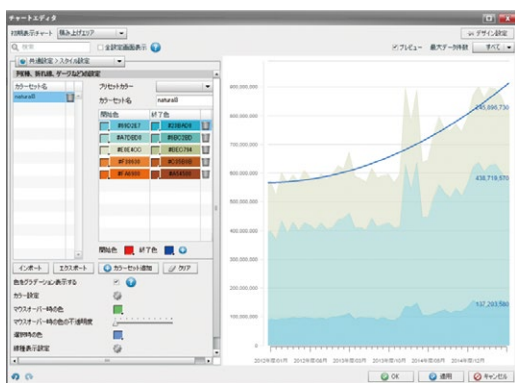
ノンプログラミングで行えるので、ユーザー部門でもダッシュボードの開発や変更が可能です。

## ■ データセットもGUIのみで操作

チャートで表現するデータセットの設定も専門的なプログラミングを必要としません。

接続可能なデータソースを選択し、項目を配置するだけでデータセットを作成できます。項目を配置すると自動的に結果セットがプレビューされるため、集計項目の選択作業が効率的に行えます。

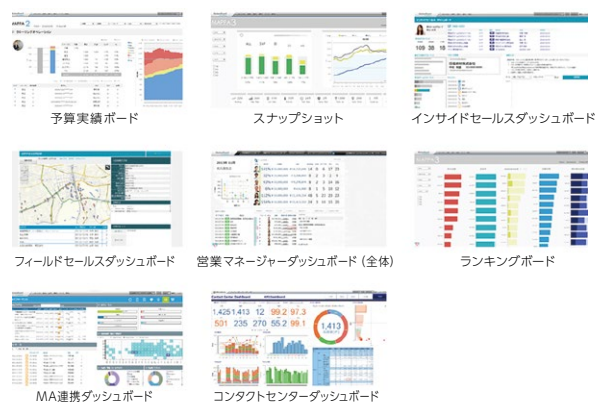
## ■ チャートエディタによる簡単チャート設定



フォントやカラーといったスタイル設定やアラートの設定など、詳細なチャートの設定もすべてマウス操作で行えます。

おすすめチャート機能は、データの内容や分析の用途に応じて最適なチャートを表示します。

## ■ ノウハウを詰め込んだテンプレート



ニーズの多い業務・業種向けのテンプレートをご用意しています。データをただ単に確認するだけでなく、見た人が次の「アクション」につながるよう、情報の見せ方のノウハウが詰め込まれています。

# データ・アプリケーションとつながる

## Excelからビッグデータまで、様々なデータソースに対応

MotionBoardは、様々なデータソースに対応しています。大量のデータはインメモリに展開し高速処理。リアルタイムに把握したいデータは直接接続して確認するなど、業務にあわせた処理形態を選択できます。また、CData Software社のドライバーを採用しており、幅広いデータソースと接続できます。

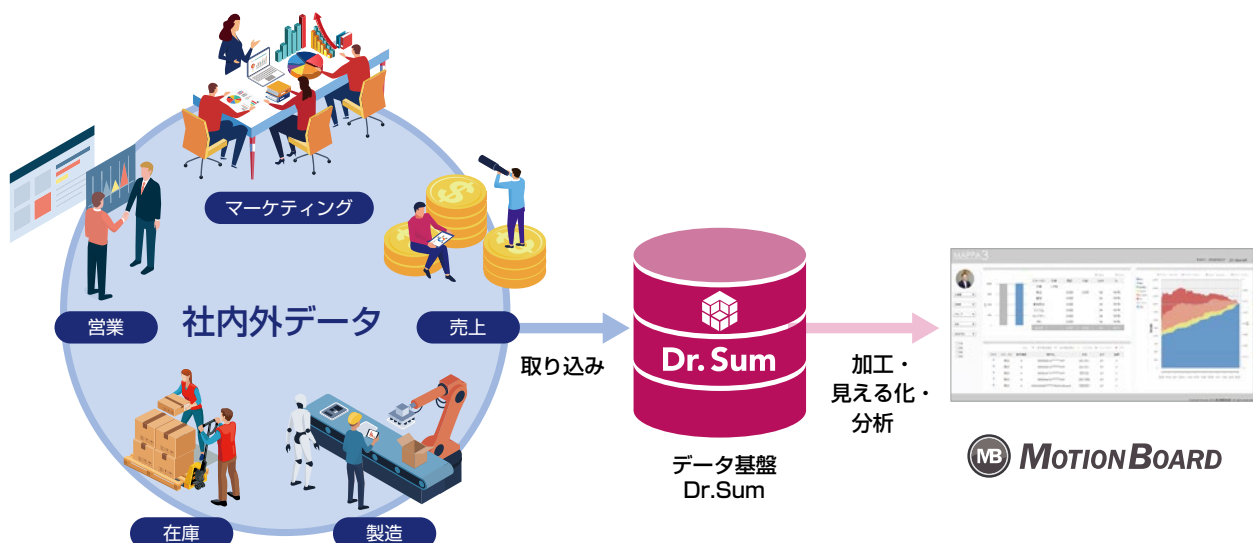
<b>データベース系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● HiRDB</li> <li>● IBM DB2</li> <li>● IBM DB2 for i</li> <li>● Microsoft Azure SQL Database</li> <li>● Microsoft SQL</li> <li>● MySQL</li> <li>● Oracle</li> <li>● Oracle RAC</li> <li>● PostgreSQL</li> <li>● SPA</li> </ul>	<b>DWH系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Dr.Sum / Dr.Sum EA</li> <li>● Amazon Aurora</li> <li>● Amazon Redshift</li> <li>● Enterprise DB</li> <li>● FUJITSU Symfoware Server</li> <li>● FUJITSU Software Symfoware Analytics Server</li> <li>● Greenplum</li> <li>● HAWQ</li> <li>● HiRDB</li> <li>● HADB</li> <li>● IBM PureData System</li> <li>● IBM Infomix Server</li> <li>● MariaDB</li> <li>● Micro Focus Vertica</li> <li>● Microsoft R Server</li> <li>● Oracle Exadata</li> <li>● SAP IQ</li> <li>● SAP SQL Anywhere</li> <li>● SAP HANA</li> <li>● Teradata</li> <li>● Tibero</li> <li>● Treasure Data</li> </ul>
<b>ファイル系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CSV</li> <li>● Excel</li> </ul>	<b>クラウドストレージ系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Amazon S3</li> <li>● Dropbox for Business</li> <li>● OneDrive for Business</li> <li>● Box Business/Enterprise</li> <li>● Google Drive for Work</li> </ul>
<b>サービス系</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Dr.Sum Datalizer / Dr.Sum EA Datalizer</li> <li>● Apache Spark</li> <li>● Red Hat JBoss</li> <li>● Google Analytics</li> </ul>	

※ 最新の対応データソース及びCDataアダプタにつきましてはサポートサイトをご覧ください。



## Dr.Sum (データ基盤) × MotionBoard (データ戦略) で実現するデータドリブン

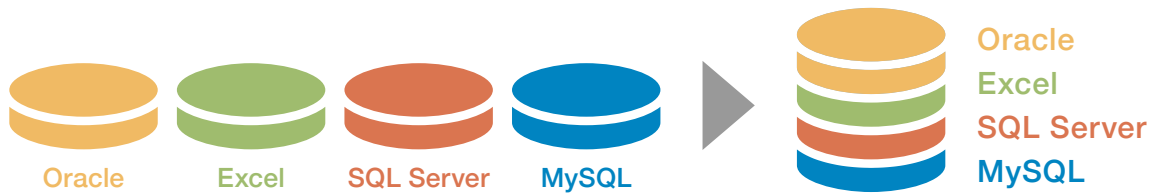
社内外に存在するデータをDr.Sumで収集、処理し、MotionBoardで見える化、分析することで、データを積極的に活用した経営戦略「データドリブン」を実現できます。





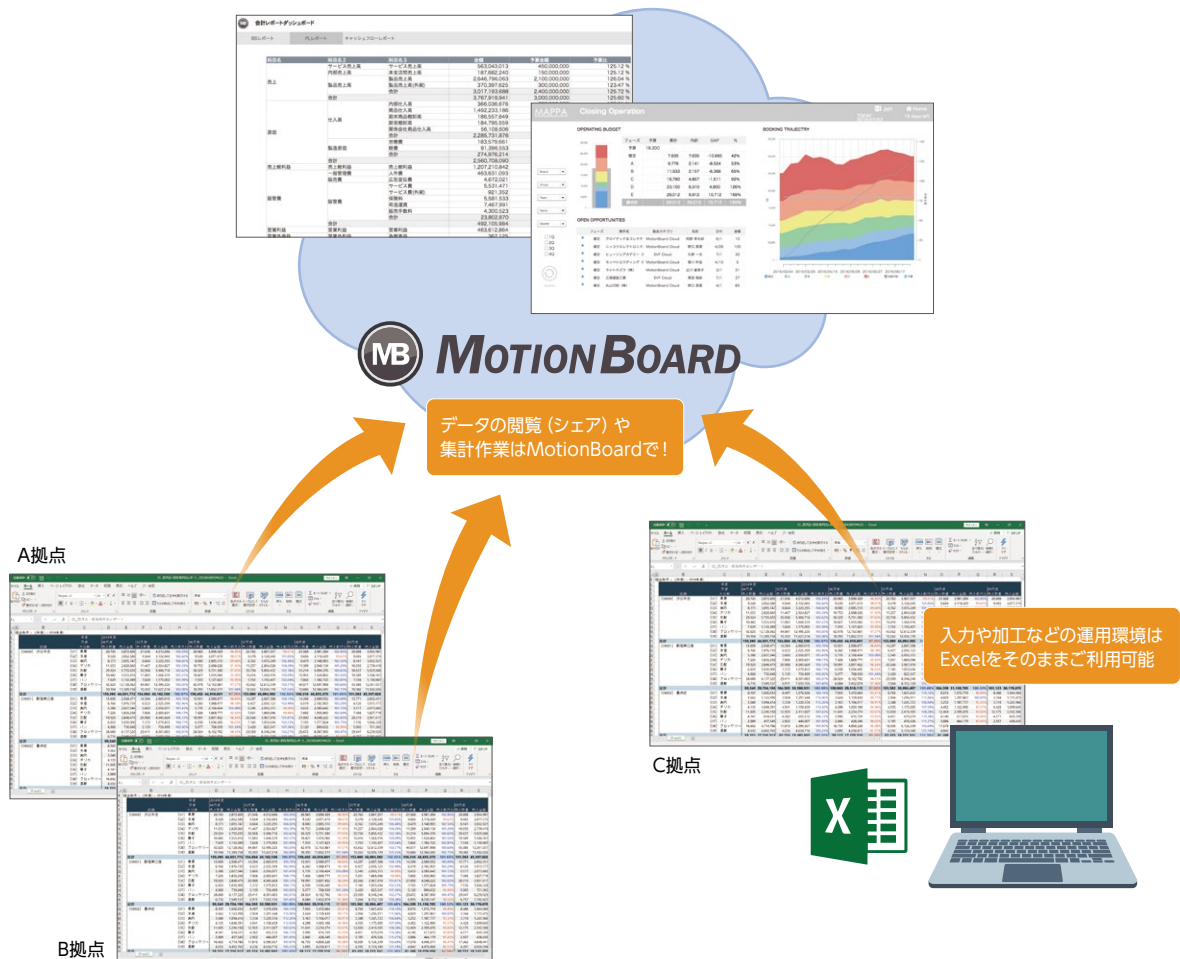
## ■複数のデータソースを結合

複数の異なるデータソースをひとつのデータソースとして結合できます。  
分散されたシステムのダッシュボードとして活用できます。



## ■Excelを最大限に利用、入力の運用環境はそのまま

データ入力・加工はExcelで行い、データの集計・可視化・分析はMotionBoardという運用を実現できます。  
「MotionBoard Agent (付属アプリケーション)」を利用することで、ファイル更新時に自動アップロード。  
社内に点在するExcelファイルはそのままに、データをMotionBoardに集約できます。



## オプション製品

オプション名	概要
MotionBoard インメモリクラスタ 追加ライセンスオプション	分散サーバー環境において各サーバーのメモリを活用した環境構築が可能です。
MotionBoard Bridge Client 追加ライセンスオプション	VPN などの構築をせずに、セキュリティを担保しつつ遠隔地のデータを利用可能にします。
MotionBoard GEO Coding オプション	リアルタイムに住所情報やグローバルIPアドレスを緯度経度情報に変換し、地図上へ表現をすることが可能となります。
MotionBoard 帳票出力 オプション	SVF レポート、Excel レポート、PowerPoint レポートの出力が行えます。 SVF レポート出力では、MotionBoard 簡易帳票レイアウトの設定を行い PDF の出力が行えます。 また、SVFX-Designer で作成したレイアウト情報を利用することにより、より高度な SVF 帳票 (PDF、Excel) の出力も行えます (SVFX-Designer は別途ご購入いただく必要があります)。MotionBoard 帳票出力オプション Linux 版のご利用には、フォントを別途ご購入いただく必要があります。 詳細は弊社営業へお問い合わせください。
MotionBoard SVF Connector オプション	弊社帳票ツール SVF あるいは SVF Cloud との連携を可能にします。 別途 SVF 環境が必要となります。
MotionBoard IoT デバイス接続追加 ライセンスオプション	IoT Agent、REST/MQTT のリアルタイム連携を行うために必要なオプションとなります。 デバイス単位 (センサー数ではなく、名前で識別する単位) での課金となりますが、1 デバイスのセンサー数の上限は 50 となります。

## 充実したサポートサービス

### 保守サポートサービス

保守ユーザー様専用の相談窓口です。製品の動作などのご相談をWebフォームにてご対応します。また、専用サイトにてFAQやマニュアルをはじめとした各種情報をご確認いただけます。

### BI コンサルティングサービス

製品知識やデータ活用に特化したコンサルティングノウハウを有した専任チームが対応します。全社的な情報活用を推進、ビジネスパフォーマンスの向上に貢献できるような様々なサービスをご提供しています。

### 製品操作トレーニング

製品ごとに操作カリキュラムをご用意します。  
弊社トレーニングルームでの受講の他、オンライントレーニング、出張トレーニングの相談も承っています。

### 活用定着化支援サービス

お客様がスムーズにダッシュボードを作成し社内で活用できるように、各種ノウハウの提供、Q&A対応、定着するための支援をいたします。

## 動作環境



※最新の対応データソースや環境については、ホームページの動作環境をご参照ください。

▶ <https://www.wingarc.com/product/motionboard/system/>

## MB MOTIONBOARD クラウド版

パッケージ版の性能はそのままに、月額3万円～利用が可能なクラウド版サービスも提供しております。

- 様々なクラウドサービスのデータを可視化したい
- いつでもどこからでもアクセスしたい
- まずはスモールスタートしたい

など、お客様の環境やご要望に応じてお選びいただけます。



## Dr. Sum データ基盤

データ基盤として欠かせない  
データ収集・加工・蓄積・分析まで

基幹システム、ファイル、IoTデータなど、社内のあらゆるデータを収集し、高速で集計が可能な「Dr.Sum」を組み合わせることにより、データ活用するためのデータ基盤を構築できます。



